

社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人 上関町社会福祉協議会
第三者評価日	令和6年10月29日（火）
現時点の社協力	<p>（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」</p> <p>○小規模組織ならではの円滑な意志疎通と住民ニーズへのフットワークの良い対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な職員会議を通じて情報や課題を共有するなど、職員数の少なさをカバーするための仕組みを整えられている。 ・事務局長のリーダーシップと行動力に加え、職員のフォローシップが強く、チームとしての結束力がある。 ・職員個々のフットワークの良さにより、超高齢社会の住民ニーズに対応するとともに、社協事業が支えられている。 ・事務局職員に対する役員の理解があり、社協事業の円滑な推進を支えている。 <p>○町行政との緊密な連携による事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政財政の厳しい中、中期的な法人運営経費に対する公費負担が確保されている。 <p>○住民ニーズの把握と適切に対応した取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な町域であり、住民との「顔の見える」関係が形成され、また、住民座談会 を町行政と一体となって実施し、実質的なニーズ把握がなされている。 ・ふれあい・いきいきサロンやボランティア活動との接点を持つことを心掛け、事業等を通じて把握した住民ニーズに対して、迅速に対応し、支援を行う姿勢がある。 ・アンケート調査により住民ニーズを把握し、将来の買い物への不安に対し、生協や コンビニエンスストアの移動販売とマッチングしている。 ・生活支援体制整備事業の訪問型サービスB、Dを活用した送迎サービスの実施など、事業や活動の中で住民の声を聞いている。 <p>（上関町社協側の視点）「強み：PRポイント」</p> <p>小規模であることから地域住民の繋がりがあり、行政との連携により地域の課題に対して住民目線で取り組んでいる。高齢化が著しく進む中、地域住民（担い手）の負担を減らしつつ、福祉活動に取り組む。</p>
3年後にめざす社協像	<p>高齢化が進み更なる担い手不足が予想されるが、行政・他法人・関係団体等の連携により、負担を削減しつつ、福祉活動の取り組みが推進できる体制をつくる。</p>

社協力向上 経過レポート	(令和7年度) ※令和8年度に記載、公開。 《実施状況》 《成果》
	(令和8年度) ※令和9年度に記載、公開。 《実施状況》 《成果》
	(令和9年度) ※令和10年度に記載、公開。 《実施状況》 《成果》